

大島公園での鳥類展示再開について

大島公園では、飼育している鳥類への鳥インフルエンザ感染予防のため、鳥類の展示を一部中止していましたが、4月19日より展示を再開することとなりましたのでお知らせします。

1. 展示を再開する施設および飼育動物

(1) フライングケージ

ショウジョウトキ、クロトキ、ヨーロッパフラミンゴ、サカツラガン、ハワイガン、マガモ、オシドリ、アカツクシガモ、キンクロハジロ、オオバン、シナガチヨウ、カラスバト、インドクジャク、マナヅル、パルマワラビー、カピバラ、トウホクノウサギ

(2) インコ舎

ルリコンゴウインコ、オオハナインコ、ヤマヒメコンゴウインコ、インカアジサシ、ニシムラサキエボシドリ、オオコノハズク

(3) ゾウガメ舎 オオハナインコ

2. 展示再開の経緯について

3月24日に、千葉県内の養鶏場で死亡した家禽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認され、発生地周辺が移動制限となりました。大島公園でも感染予防のため鳥類の展示を一部中止するなどの対策を取ってきました。

これまでのところ、制限区域内において異常等は見られないことから、4月18日に移動制限が解除となりました。これを受けて、大島公園でも鳥類の展示を再開する運びとなりました。

なお、これまでに引き続き、入園門には消毒用マットを設置しています。消毒マットを踏んで靴裏を消毒してから園内にお入りください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

